

エドのっティータイム



日本は、特に石川県は、おいしい海鮮料理がたくさんあり、シーフード好きな僕にとってはとてもうれしいことです。しかし、日本に来るまではそれほど海鮮料理を好んでいませんでした、というよりは食べる機会が少なかったです。

これはなぜかという、日本と同じ島国なのに生まれ育ったイギリスではシーフードを食べる習慣がさほどありません。日本に来てから気づいたことですが、ちょっと不思議に思います。もちろん、白身魚のフライとフライドポテトの「フィッシュ・アンド・チップス」はよく食べますが、そこでほぼ留まっている気がします。

イギリスでは海老、カニ、貝類は値段が高くて高級なイメージが付いていますし、イカやタコは食の対象だという意識すらありません。イカとタコの本来の見た目を思い浮かべて食べる気になれない人が多いと思いますね。

なぜイギリスでは魚を食べる文化が発展してこなかったのだろう？と考えたところ、恐らく平地が多くて家畜を飼うための土地に困らなかったことで、今まで魚に頼らなくてもよかったというのが一つの要因なのではないかと思いました。果たして本当にそうなのかどうかははっきり言えませんが、いずれにせよ、いつかイギリスに帰ってもすぐにまた寿司やたこ焼きを食べたくなる気がします。

国際交流員(CIR)は、市役所に勤務し、まちの国際化の推進に取り組んでいます。このコラムではCIRのエドが日々感じる異文化体験や母国イギリスの文化などを紹介します。



のっティからの挑戦！クロスワードパズル？ vol.4

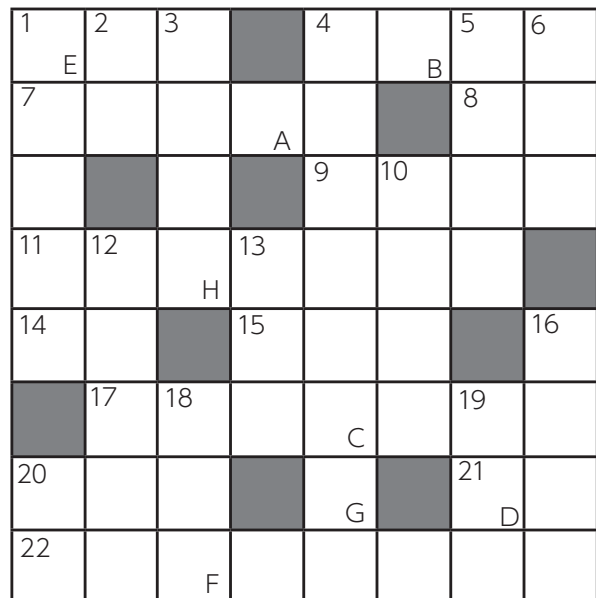
タテとヨコのかぎをいれて
A～Hの文字を並べてね！

タテのかぎ

1. 阿弥陀仏の後光が由来のクジ
2. 2016年にはG7の〇〇志摩サミットがありました
3. 昨年10月、市観光物産協会から〇〇〇〇マップの第2弾が発行されました
4. フランスで開かれる世界三大国際映画祭の一つ
5. 格子状の引き戸もしくは扉
6. ゴルゴ13は〇〇に立たれるのを嫌います
10. 薬などを携帯するための小さな容器です。水戸黄門では権力の象徴となっています。
12. 試合や競技で続けて勝つこと。
13. この状況は厳しい。〇〇楚歌
16. スイスのアルガウ州の州都です。1798年には首都になったこともあります。
18. 不必要な親切心やおせっかい。〇〇なお世話
19. 仏教では彼岸といわれます
20. 野々市の前の首長は安田〇三さんでした。

ヨコのかぎ

1. 英語でいう氷。氷菓の総称。
4. クイズ景品のバッグは、市〇〇物産協会の提供です
7. 成年に達していないこと
8. 日本の東北地方では「べこ」と呼ばれています
9. 生地を縫いあわせる際に必要な部分
11. 音楽の強弱記号で「だんだん強く」の意
14. 「人」の読み方の一つ
15. 複雑に入り組んだ道を抜けてゴールを目指します
17. ドイツ後期ゴシック絵画の代表者で、初めて本格的な銅版画活動を行った画家です。
20. ゴーヤで作るグリーンカーテンが涼しげですね。
21. 野や野原、または田畑のこと。〇〇仕事。
22. これにより、新時代「令和」が始まりました。



かわいいのっティのイラストが
描かれたオリジナルグッズ！



正解者の中から抽選で1人に、1の1 NONOICHIで絶賛販売中のマルシェバッグをプレゼント。
(市観光物産協会提供)

【応募方法】

ハガキ、ファックスまたは電子メールに①クイズの答え②住所、氏名、年齢、電話番号③広報紙の感想を書いた上、下記へ送付
締め切り 1月20日(月) (消印有効)
当選者の発表は賞品の発送をもって行います。感想は公開する場合があります。

【あて先】

921-8510 野々市市三納1丁目1番地
市民協働課広報広聴係
ファックス：☎ 227-6259
メール：kyoudou@city.nonoichi.lg.jp